

# ディベートバロット (A部門用)

大会名: JDA 第 Final 試合 部屋番号: 特別教室 日付: 00/3/20 肯定側: Debate Network 否定側: 即席YK

## 各スピーチの評価

各スピーチの評点を項目ごとにそれぞれ1点から10点の整数(10点が最良) でつけて下さい。

肯定側		否定側													
第一立論 名前: _____ コメント欄:	<table border="1"> <tr><td>8</td><td rowspan="5">分析 理由付け 証拠資料 構成 表現</td><td>5</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> </table>	8	分析 理由付け 証拠資料 構成 表現	5	8	8	8	8	第一立論 名前: _____ コメント欄: デリット2とデリット3は両方可能 ですか?	<table border="1"> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>2</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> </table>	5	2	8	8	8
8	分析 理由付け 証拠資料 構成 表現	5													
8															
8															
8															
8															
5															
2															
8															
8															
8															
第二立論 名前: _____ コメント欄: デリット1はもうし39,7 できるとは?	<table border="1"> <tr><td>6</td><td rowspan="5">分析 理由付け 証拠資料 構成 表現</td><td>5</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>6</td></tr> </table>	6	分析 理由付け 証拠資料 構成 表現	5	8	8	8	6	第二立論 名前: _____ コメント欄: デリット3あり. デリット32,7か 他のデリットの説明をほかがみ てみます	<table border="1"> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>10</td></tr> </table>	5	8	8	6	10
6	分析 理由付け 証拠資料 構成 表現	5													
8															
8															
8															
6															
5															
8															
8															
6															
10															
質疑応答 コメント欄:	<table border="1"> <tr><td>7</td><td rowspan="5">1肯←2否 1肯→1否 2肯←1否 2肯→2否</td><td>10</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>8</td></tr> </table>	7	1肯←2否 1肯→1否 2肯←1否 2肯→2否	10	6	6	6	8	質疑応答 コメント欄:	<table border="1"> <tr><td>10</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> </table>	10	6	6	6	
7	1肯←2否 1肯→1否 2肯←1否 2肯→2否	10													
6															
6															
6															
8															
10															
6															
6															
6															
第一反駁 名前: _____ コメント欄:	<table border="1"> <tr><td>6</td><td rowspan="5">分析 理由付け 構成 表現</td><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> </table>	6	分析 理由付け 構成 表現	6	6	6	6	6	第一反駁 名前: _____ コメント欄: 証明責任をまじけるだけでは不 精確的に反論がきこえます	<table border="1"> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>6</td></tr> </table>	6	6	6	6	
6	分析 理由付け 構成 表現	6													
6															
6															
6															
6															
6															
6															
6															
6															
第二反駁 名前: _____ コメント欄:	<table border="1"> <tr><td>8</td><td rowspan="5">分析 理由付け 構成 表現</td><td>5</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> </table>	8	分析 理由付け 構成 表現	5	8	8	8	8	第二反駁 名前: _____ コメント欄: デリット1と2 をいませう	<table border="1"> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>8</td></tr> </table>	5	8	8	8	
8	分析 理由付け 構成 表現	5													
8															
8															
8															
8															
5															
8															
8															
8															

## 試合一般に関するコメント

面白い試合でした。

- \* X1 (原発事故) について
    - ① 否定側は統計的なデータをもとに、事故のリスクは許容範囲内と主張する。しかし、原発の運転経緯は短いため、データの信頼性に疑問。地震国の日本では、リスクは許容範囲内とは言い切れない。
    - ② 否定側は、多重防護システムについて論じる。しかし、肯定側主張の通り、地震時では同時にトラブル起こる可能性あり(ハイポソクダ等)。
    - ③ 一方で、事故に死亡(26人) + 風評被害はあり。
  - \* デリット1 (失業) について
    - 成立するか。ある程度は新エネルギーにより吸収可能と考えます。
  - \* デリット2 (電力不足) について
    - ① 電力は原発なしで現状はOK。しかし、将来的には不足する。
    - ② 将来不足分は、海岸に波力発電所をやることにより相当補填。この点、否定側がほぼ実証的な議論なし。また、デリット2を否定側が主張する前に、石炭にシフトする。電力は不足しないと考えます。
    - ③ ①, ②. 経済に影響がほとんど。電力不足は考えにくい。多くの点、肯定側の主張が、博覧強識と同程度か。  
→ ほいほいせり
- 被害の明確性・深刻性・対策の有無を考へて X1 > デリット1 と考えます。
- この試合における勝者は  
 (肯定) 側    チーム名: Debate Network

審査員署名: \_\_\_\_\_

Best Debater. 2肯 藤本 士

# ディベートバロット (A部門用)

大会名: 第6回 JDA春期 Final 第      試合 部屋番号: Opening 日付: 2000年 3月20日 肯定側: 倉川西 C 否定側: 即席とんこつ

## 各スピーチの評価

各スピーチの評点を項目ごとにそれぞれ1点から10点の整数(10点が最良)でつけて下さい。

肯定側

第一立論  
名前: 梅山 君

コメント欄:  
比較的良くまとまって  
います。どう廃棄するか  
代替は実現可か、示して

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

第二立論  
名前: 藤本 君

コメント欄:  
波力の技術上の現実性を  
知らせてほしい

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

できぬは speech が  
行、たりにてりしてゆくに  
質疑応答

コメント欄:

6	1肯←2否	8
6	1肯→1否	7
	2肯←1否	
	2肯→2否	

第一反駁  
名前: うめ

コメント欄:  
どの論点(イシュー)の  
話が、わかりやすくして  
ほしい。

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

第二反駁  
名前: ふら

コメント欄:

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

否定側

第一立論  
名前: 稲岡さん

コメント欄:  
デメリットは2つもあるが  
十分でしょう。内容は良いと

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

第二立論  
名前: 杉井さん

コメント欄:  
折角でしたら、利点1を  
相手の論点.ことに反論した  
方が良いと思います。

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

質疑応答  
コメント欄:

第一反駁  
名前: いっ

コメント欄:  
もっと Impact も説明が  
あると良いでしょう。

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

第二反駁  
名前: さくら

コメント欄:  
時間はうけて分けて  
使った方が良いでしょう。

分析理由付け	
証拠資料	
構成表現	

## 試合一般に関するコメント

デメリットは 反馬で説明できておらず、無視します。

利害の議論が、あして デメリットの cost の  
話に関連してきます(が、一度大事故が起きたら、cost 云々では  
では無いでしょうけど...)

否定側の米国の統計に対し、肯定側は日本の持つ特殊事情で  
大々戦していました。確かに地震による危険性は感じられました  
(ある程度)。ただ、どう様にして(そして安全で)、  
そしてその地震の害を軽減するための(2010年おのり間)、  
それ説得力に欠ける部分もあります。

一方失業のデメリットはある程度発生しそうですね。Specialist が  
どうか証明していません( cf. バックは special tech が...?)  
全員の雇用を保障して、自殺者もあることでしょう。

また、今のピークはわかっているかも知れませんが、コストが高くて  
他の手段では、GDPの低下も発生しそうですね(1%とまでは  
行かないでしょうけど)。波力の実現可能性は示していません。

この試合における勝者は

(肯定/否定)側 チーム名: 即席とんこつ

総合すると、私は電力不足  
等に投票します

審査員署名:

# ディベートバロット (A部門用)

大会名: \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 試合 部屋番号: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_ 肯定側: DNet - C 否定側: 20席 とんつ

## 各スピーチの評価

各スピーチの評点を項目ごとにそれぞれ1点から10点の整数(10点が最良)でつけて下さい。

肯定側

否定側

### 第一立論

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

放射線物質の  
放射能が  
放射能が  
放射能が


分析  
理由付け  
証拠資料  
構成  
表現


### 第一立論

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

DA2とDA3は  
両方とも言及する

### 第二立論

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

### 第二立論

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:


分析  
理由付け  
証拠資料  
構成  
表現


### 質疑応答

コメント欄:


1肯←2否  
1肯→1否  
2肯←1否  
2肯→2否


### 質疑応答

コメント欄:

### 第一反駁

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

返しきってない


分析  
理由付け  
構成  
表現


### 第一反駁

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

### 第二反駁

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:


分析  
理由付け  
構成  
表現


### 第二反駁

名前: \_\_\_\_\_

コメント欄:

## 試合一般に関するコメント

1. 事故について

地震が起きたその3時間後、肯定側は、明確に確率  
放射能が大きいことを立証(2)していた。

しかし、否定側の反論は、一般の話に過ぎず、地震の12  
-度にはたまたま場所がたまたま発生(5月12日)に  
対応できるか説得力が低い。

事故のリスクは残る。反た、元々の大規模リスク  
ではない。

2. 経済的損失について

死者が発生し、自給自足が

3. 経済的損失について

将来的な需要の212 対応するための

新エネルギーのコストが高くなり、経済に悪影響の  
悪影響がある。

4. 経済的損失について

環境影響はあるかもしれない、不明

リスクの比較については、~~明確に~~ 原発の事故のリスクは 100万~1億分の1  
である。しかし、この重村の主張 ~~は~~ 否定的には、多くの  
経済的損失は 発生しない判断して 原発を廃止することは一歩の  
合理性がある。

この試合における勝者は

(肯定/否定)側

チーム名:

DNet - C

審査員署名: \_\_\_\_\_

Best = 2A.

# ディベートバロット (A部門用)

大会名: JDA 春 第 Final 試合 部屋番号: 特教 日付: 2010/3/20 肯定側: DN-C 否定側: とんこ

## 各スピーチの評価

各スピーチの評点を項目ごとにそれぞれ1点から10点の整数(10点が最良)でつけて下さい。

肯定側

第一立論  
名前: いぬ

コメント欄:  
波力の実効性について  
の証明が欲しい。


分析  
理由付け  
証拠資料  
構成  
表現


第二立論  
名前: いぬ

コメント欄:


分析  
理由付け  
証拠資料  
構成  
表現


質疑応答  
コメント欄:


1肯←2否  
1肯→1否  
2肯←1否  
2肯→2否


第一反駁  
名前: U

コメント欄:


分析  
理由付け  
構成  
表現


第二反駁  
名前: F

コメント欄:


分析  
理由付け  
構成  
表現


否定側

第一立論  
名前: いぬ

コメント欄:

第二立論  
名前: とんこ

コメント欄:

質疑応答  
コメント欄:

第一反駁  
名前: I

コメント欄:

第二反駁  
名前: S

コメント欄:

## 試合一般に関するコメント

タイムアウト(失業 電力不足 等)。

- ・波力発電の有効性、実現可能性という点について肯定側は代替ばかり得るという立証がなかった。
- ・自社のriskは5~6万人の失業者から発生するriskがuniqueにある。
- ・これだけの話(事故の賠償によるコスト)は下のcaseの話も聞けるが、~~この~~この大事故のriskは不確定である。  
⇒ 以上 タイムアウトのこと。

## CASE

- ・日本は地震が多いのと同じく、原発の大事故に及ぶ程の確率が不明。また、各安全システムについての反論も明確でなく。地震の場合は多重防壁がとれているという立証がある。
  - ・統計データ(riskに関して)について、肯定側から分析がある。否定側の100万に1度、~~この~~が残り乱暴な断定か。Dataの見方に対する専門的な立証が欲しい。⇒ risk uncertain 立証責任 ATT 1272 neglect eq.
- この試合における勝者は  
(肯定/否定)側 チーム名: とんこ

審査員署名: \_\_\_\_\_

以上 - uncertain risk < タイムアウト - としよ。

# ディベートバロット (A部門用)

大会名: 6th JDA 第 FINAL 試合 部屋番号: \_\_\_\_\_ 日付: 00/3/20 肯定側: 創価大D-net C 否定側: 即席とんこつ

## 各スピーチの評価

各スピーチの評点を項目ごとにそれぞれ1点から10点の整数(10点が最良)でつけて下さい。

肯定側

第一立論  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


 分析理由付け 証拠資料 構成 表現 


第二立論  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 固有性ではせいぜい


 分析理由付け 証拠資料 構成 表現 


質疑応答  
コメント欄: 


 1肯←2否 1肯→1否 2肯←1否 2肯→2否 


第一反駁  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


 分析理由付け 構成 表現 


第二反駁  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


 分析理由付け 構成 表現 


Best

否定側

第一立論  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


第二立論  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


質疑応答  
コメント欄: 


第一反駁  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


第二反駁  
名前: \_\_\_\_\_  
コメント欄: 


## 試合一般に関するコメント

否定側は主に多層防護システムによる放射能の封じ込めと、統計的なデータをもって震災に反論した。統計データに関しては日本が地震が多いことが想定されておらず、また長期的視野に立てば地震がおきて数値も大きくなるかもしれない。Interlockによる封じ込めに関しては崩壊熱のために封じ込められない可能性と、地震による直接的破壊の可能性(特に日本では耐震設計が甘い)の議論が説得的に聞こえた。イメージダウンも残る。失業者はかなり発生するだろうが、何人が自殺するかはよくわからない。電力不足に関しては需要が述べているが、波力が現在の総発電量の1/3をカバーできるかもしれない。XリットとデXリットを比較するとXリットが大きいと感じられました。

この試合における勝者は  
(肯定) (否定) 側

チーム名: 創価大D-net-C

審査員署名: \_\_\_\_\_